

石仏散歩

No.99

発行 新潟県石仏の会(代表 星野 紀子) 2017年6月15日 発行
 事務局 〒945-0837 柏崎市三島町16-2 渡邊三四一 電話0257-22-1941
 ホームページ <http://niigata-sekibutu.vox.jp>

石仏散歩

加賀街道、長浜宿の道標

上越市 水島 健 吾

狭義では出雲崎から高田を経て信州追分宿までを北国街道というが、街道の名前の多くは進む方向の地域名を頭につけて呼んだ。高田からは柏崎方向を「おうしゅうみち」長野方面は「しんしゅうみち」または「ぜんこうじみち」。そして北陸方面は「かみち」である。

この加賀街道の長浜宿の東端にある、長浜薬師堂入口の案内石碑が街道調査時に気に



長浜宿 道標

なった。自然石に「大峯山 此山上ニ奕堂禪師舍利塔アリ」と刻まれている。裏面に「明治十五年 砂山傳四郎」とあり、「奕堂(えきどう) 禪師」を調べると大変立派な人物だったようだ。以下に記す。

「文化二年(一八〇五)〜明治一二年(一八七九)、名古屋生まれ、愛知県内の各寺で修行し、弘化四年(一八四七)京都山科大宅寺住職となり、上野国龍海院、加賀天徳院を歴住。永平寺と總持寺の内紛を収めて、明治三年(一八七〇)総持寺独住一世となり、弘濟慈徳禪師と賜号される。その後曹洞宗管長に就任する。七五歳で山形善宝寺にて遷化。通称、

諸嶽奕堂、号は旃崖」とある。

そんな高僧とどんな関係があったか? 設置者の砂山氏は地元、曹洞宗悦翁寺の檀家で子孫は東北地方に転出。周辺聞き取りの結果、薬師山(二七二メートル)にある薬師堂は昔から庵主さんが居り守ってきたが、かなり前に無住となり、一時悦翁寺が管理したこともあった。又、薬師庵とも云われ、明治以降の新しい創建らしい事も分かった。

お堂の中に逗子に入った小さな薬師石仏があり、その下に奕堂禪師の二十六文字に及ぶ長い戒名の位牌が置かれている。

お堂裏手には明治五年、長浜村小林貞長が寄付者を募って祀った西国三十三観音がコの字に配列されているが、その北側の中心に二基の無縫塔(高さ約一六〇センチ)がある。右塔には刻まれた勅賜弘濟慈徳の文字が微かに読み取れる。間違いなくこれが奕堂禪師の舍利塔なのだろう。



奕堂禪師の舍利塔

それにしてもなぜこの山にと、謎は未だ解けない。薬師堂が出来てから薬師山と呼ばれたのか、明治初期は道標にある大峯山だったのか。お堂の前には薬師様を守るように二列の地藏様が整然と並んでいる。

近々、町内会長はじめ有志で参道の草刈りをするとの事、今はまだ守られている。感謝あるのみ。

上越地区見学会に参加して

千葉県船橋市 吉村雅夫

四月二十九日上越市博物館前に集合し、高田城下の石仏・石碑・寺院等の見学であった。私が参加した数回の中では、参加者が約五十名、マイクロバス二台に分乗というのは最多ではなかったかと思う。

普段何気なく通り過ぎていた道路脇に、説明があつて初めて気づく石碑や説明を聞いて、そんなに由緒ある寺だったのかと驚きの連続であつた。

寺町の寺院では、江戸時代に一万坪もの敷地を有していたのが、浄興寺・善導寺・天崇寺と三か寺もあると聞いて驚いた。それぞれの寺の歴史がまた興味深い。



浄興寺 親鸞聖人本廟

浄興寺が親鸞聖人にゆかりが深いという程度の知識しかなかったが、茨城県の稲田に始まり、春日山城下や福島城下を経て高田の寺町へ移つたという。親鸞聖人本廟（写真上）は明

治になって建てられたのだが、その唐門の精緻な彫刻に、私を含めて多くの人が驚嘆するばかりであつた。

善導寺は松平忠輝によって二ノ辻の正面に寺地を与えられた。寺が直江津にあつた時代に僧蓮海が発見したという海中出現の木造善導大師像の温和な顔の表情が素晴らしく今でも心に残っている。



天崇寺 山門

創建され、高田に移転した。山門（写真上）は高田城の城門を模し、境内には高田姫の五輪塔があるが、高田姫とは徳川秀忠の娘の勝子で、

子の光長が藩主となつた時に高田に来て、産業の育成に貢献したという。

他にも善導寺に墓所のある家老小栗美作の業績、城下の下紺屋町にある北国街道と加賀街道の食い違いの分岐点や道標のこと、稲田口番所跡、西光寺の関山から移されたという平安石仏の阿弥陀如来等々説明を聞かなかつたら知りえないことばかりで大満足な見学会であつた。

そのうえ、普段なら入れそうもない江戸時代から続く料亭宇喜世での昼食。素晴らしい拵えに皆驚きであつた。



宇喜世 集合写真

父博が亡くなって早十二年になる。生存中、皆様にお世話になりながら、石仏や石碑に夢中になつていたことを思い出す。私は視点が違つて、歴史的な方向から物事を見たいと思つている。親子二代に亘つて石仏の会に関わらせていただいていることに感謝している。

北国街道高田城下駆け歩記

北国街道(Ⅱ) 2017実行委員会

北国街道は佐渡の金銀を江戸に運ぶために整備された街道で中山道信濃追分から高田城下を經由し出雲崎に至る街道です。上越地区では関川関所(妙高市)から鉢崎関所(柏崎市)までを三回に分けて見聞することとし、本年はその二回目として、高田城下を巡りました。城下町ということ寺院や町家建築へも範囲を広げたため、石仏の比率がやや落ちてしまったことは残念ですが、北国街道と高田城下の歴史と文化を理解していただけたことと思います。以下コースの概要を記します。

▼**浅溪院**(曹洞宗) 延命地藏尊・白衣観世音 世音 大乘妙典書写塔(写真左)・石幢を見学。



浅溪院 白衣観世音

▼**善導寺**(浄土宗) 木造善導大師像(国指定重要文化財)をこ住職の解説で拝観、高田藩家老小栗美作の墓・徳本行者名号塔・義賢行者名号塔などを見学。

▼**天崇寺**(浄土宗) 高田城の城門と同形の山門(写真前ページ)・天明飢饉地藏(写真左)・高田姫五輪塔・宝珠院五輪塔を見学。



天崇寺 天明飢饉地藏

▼**浄興寺**(浄土真宗) 本堂(国指定重要文化財)・親鸞聖人本廟の唐門彫刻(市指定文化財)を見学。

▼**料亭宇喜世** 国登録有形文化財の本館建物(写真前頁)、格天井の大広間、書院造の座敷を支配人さんの案内で見学、昼食。

▼**高橋孫左衛門商店** 四百年の歴史ある飴屋(建物国登録有形文化財)を見学、名物の飴を試食、お土産の買い物も。

▼**西光寺**(浄土真宗) 市内最古の関山系石仏阿弥陀如来(写真下段右)を見学。



西光寺 阿弥陀如来

▼**旧今井染物店** 江戸時代に建てられた町家建築内部・造り込み式雁木を見学。

▼**町家交流館高田小町** 交流施設としてリノベーションされた問屋の建物を見学。

▼**追分の道標** 奥州みち(北国街道)と加賀みちの分岐点を示す道標を見学。

▼**高田公園の庚申塚** 青面金剛像の庚申塚(写真左)を見学。



高田公園 庚申塚

▼午後三時半、市立博物館前にて散会。

事務局だより



◇中越地区見学会のお知らせ

期日 10月26日(木)

テーマ 小千谷の石仏と文化財巡見

集合 10時15分 JR小千谷駅前(長岡発9時54分発)→小千谷着10時11分

【駐車場】駅の長岡よりパーキングあり。満車時は駅を背に三つ目の信号(100m)右側の東栄町パーキングを利用(町内会長に依頼済)

見学地

①山村の石仏信仰民俗探訪、毎年二十三夜祭礼あり、②一瞬の地滑りで全町が埋没した中江町の不動・薬師(東洋のポンペイ・越後の草土千軒)、③回国放浪の作仏聖木喰遺作六二〇体中唯一の石彫「大日如来」、④戦前の国宝(現・重文)妙高寺の愛染明王像(ご開帳日)、ほかに産業会館(世界遺産小千谷縮)にも立ち寄り予定
昼食 名物・へぎそばと天ぷら(うどんもあり、うどん希望の方は事前申し込み下さい)

解散 16時予定 小千谷駅

定員 28名

参加費 3500円(資料・バス・昼食代他)
案内・広井忠男さんまでFAXかハガキで 〒947-0028

小千谷市内 4-9-14
TEL 0258-82-9430

◇平成29年度公開講演会・総会報告

5月14日(日)アオーレ長岡第1協働ルームにて、今年度総会が開催されました。第一部の公開講演会(13時~14時30分)

は、講師に板橋春夫氏(東京工業大学教授・前県立歴史博物館参事)をお招きし、「産育文化と石神仏―いのちの民俗学からの接近―」と題してご講演をいただきました。県立歴史博物館との共催展図録『石仏の力』掲載の「腹帯を巻いた庚申塔」や「十二天(山の神)」を糸口とし、新潟・群馬両県における産育・出産の民俗を豊富な事例で紹介され、氏の提唱する「いのちの民俗学」の一端を楽しく学びました。参加28名(一般4名含む)。

第二部の総会(24名参加)では、平成28年度事業報告・決算報告、平成29年度事業計画・予算(案)が審議・承認されました。なお、懇親会は16名の参加でした。



◇津南町石仏見学会のお知らせ

日本石仏協会との共催で、津南町の合同石仏見学会が計画されました。詳細は別紙のとおりです。ご参加お待ちしております。

期日 10月15・16日(日・月)

参加費 一泊 2000円(懇親会費含む)

15日のみ 2200円

16日のみ 3500円(昼食代含む)

申込み 桑原和位さんまで

〒949-8201

津南町大字下船渡戊411

TEL 0257-65-3340

◇夏の「泊見学会」は定員に達しました

前号で募集しました夏の「泊見学会」は、早くも定員に達しました。応募締め切り前ですが、募集を打ち切りとさせていただきます。ご了承のほどお願いいたします。

◇新年度入会 佐藤徹(新潟市)、井上光威(長岡市)、佐藤榮征(新発田市)

◇今年度会費未納の方へ

今年度会費の振替用紙を同封しました。お早目にお振込み願います。

編集後記

上越地区石仏見学会はおかげさまで多数の参加を得て終了しました。初代地区代表故吉村博氏のご息から感想文を寄稿いただきました。次回は北国街道シリーズ最終回、米山峠を越えて鉢崎関所へと向かいます。ご期待ください。(上越地区事務局)